

ご寄附の方法

東北大学基金ウェブサイトの寄附申込みフォームにて、寄附の目的欄から「部局のプロジェクトを支援」、使途欄から「東北大学附属図書館 図書館のみらい基金」をご選択ください。

● お申込み方法

個人の方	お申込み方法については、以下URLまたはQRコードよりご確認ください。 https://www.kikin.tohoku.ac.jp/application/individuals 決済方法は以下からお選びいただけます。		
クレジットカード決済	    	郵便振替	お申込み完了後、払込取扱票を送付いたします。
銀行振込	お申込み完了後、振込先の口座番号をご連絡いたします。 取扱金融機関：みずほ銀行／七十七銀行／ゆうちょ銀行	PayPay決済	お申込み完了後、ログイン・お支払い操作をお願いいたします。
コンビニ決済	お申込み完了後、お近くのコンビニでのお手続きが可能です。	Amazon Pay 決済	Amazonアカウントをお持ちの方はより簡単にお手続きができます。

法人・団体の方	ウェブサイトからのお申込みが可能です。 お申込み方法については、以下URLまたはQRコードよりご確認ください。 https://www.kikin.tohoku.ac.jp/application/corporations-and-organizations	
---------	---	---

● 税制上の優遇措置

個人の方	税務署に確定申告をしていただくことにより、税制上の優遇措置を受けることができます。
法人・団体の方	寄附金額全額を損金に算入することができます。

東北大学基金からの顕彰・特典

- 東北大学基金ウェブサイトへの芳名の掲載
東北大学基金ウェブサイト「寄附者芳名帳」等にお名前を掲載いたします。
ただし、「お名前の公表を希望しない」旨のご連絡をいただいた方については、掲載いたしません。
- 東北大学オリジナル返礼品を謹呈
1,000円以上のご寄附を頂いた個人の方全員を対象に、「選べる返礼品」をご用意しております。
- 賞の贈呈
ご寄附の総額に応じて賞状または記念プレートを贈呈いたします。
また、功績賞以上の賞を受けられた寄附者さまに、以下の特典をご用意しています。
 1. 寄附者顕彰銘板への芳名の掲載
東北大学片平キャンパス内エクステンション教育研究棟に設置している「東北大学基金寄附者顕彰銘板」に掲載いたします。
 2. 「感謝のつどい」へのご招待
総長をはじめとした本学関係者との交流・意見交換を目的とした「東北大学基金感謝のつどい」へご招待いたします。
 3. 東北大学萩友会プレミアム会員としての特典
広報誌の送付、大学主催のイベントへご招待いたします。
萩友会ウェブサイト：<https://shuyukai-tohoku-u.net/>

種別	個人	団体・法人
栄誉功労賞	3,000万円以上	1億円以上
特別功労賞	1,000万円以上	5,000万円以上
功労賞	100万円以上	1,000万円以上
特別功績賞	50万円以上	500万円以上
功績賞	10万円以上	100万円以上

附属図書館の特典

展示イベント案内等の特典を用意しております。
また、功労賞以上の賞を受けられた方は、萩友会永年会員証で本館を利用することが可能です。
<https://shuyukai-tohoku-u.net/premium-sisetu/>

お問い合わせ先

- 基金による事業に関するお問い合わせ先
東北大学附属図書館総務課情報企画係
〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1
TEL：022-795-5911
E-mail：lib-som@grp.tohoku.ac.jp
URL：<https://www.library.tohoku.ac.jp>
- 寄附の方法等に関するお問い合わせ先
東北大学基金事務局（東北大学総務企画部基金・校友事業室内）
〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目 1-1
TEL：022-217-5058・5905
E-mail：kikin@grp.tohoku.ac.jp
URL：<https://www.kikin.tohoku.ac.jp>



東北大学附属図書館



東北大学特定基金へのご協力をお願い

TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

「知」を開き、 未来につなぐために



東北大学附属図書館は、東北帝国大学の創立から4年後の明治44年（1911年）に設置され、100年余にわたって東北大学、そして国内外の教育・研究を支え続けてきました。現在では、川内キャンパスにある本館をはじめ、医学分館、北青葉山分館（理学・薬学）、工学分館、農学分館および複数の研究所図書室等から構成されています。全体の蔵書数は国内最大級の約420万冊を誇り、学外も含め年間約80万人もの利用者が訪れています。

東北大学が2024年11月に第一号の国際卓越研究大学に認定されたことにより、当館もこれまで以上に海外から多くの研究者や学生を迎え入れることになります。また同時に、海外に羽ばたく研究者や学生の支援もいっそう強力に推し進める必要があります。

具体的な課題としては、国際卓越研究大学を支える「教育」と「研究」の双方の支援の拡充と高度化、学術資源のデジタル化による公開の促進、適切な学習環境の維持、また、それらを担う専門職としての大学図書館職員の育成等、どれも急務であると捉えております。

特に、誰もがいつでもどこからでも利用できる学術資源のデジタル化には近年重点的に取り組んでまいりました。2024年4月には「東北大学総合知デジタルアーカイブ ToUDA」を公開し、図書館所蔵の古典籍等を高精細かつ使い勝手のよいインターフェイスで利用いただけるようになりました。このアーカイブには「図書館のみらい基金」に寄せられたご寄附でデジタル化した資料も数多く含まれております。

学術資源のデジタル化へのみなさまのご支援に感謝申し上げますとともに、今後も多様な課題への取り組みを着実に遂行するため、引き続きご支援を賜ることが出来ますようお願い申し上げます。

2025年9月

東北大学附属図書館

館長 植木俊哉

基金の主な使途



1 市民のみなさま・学生・研究者のための デジタルコレクション構築と公開

古典資料や貴重書を中心に高精細の画像データを作成し、直接の来館が難しい利用者の方々も簡便にかつ必要とされる時にいつでも利用できるようにします。また、タブレットやパソコン上での原本の比較研究等にも対応できる高水準の公開システムの開発・運用を目指します。



3 図書館設備の充実、資料の保存・修復

学生をはじめとする来館者が、安心・安全にご利用いただけるよう館内の設備を充実させると同時に、障がいをお持ちの方も快適に滞在いただける環境を整備します。また、貴重書をより良い状態で保管できる環境を維持し、燻蒸（カビの殺菌）や修復などの資料保全の取り組みを適切に行います。



2 貴重資料に関する各種イベント開催

どなたでも観覧いただける貴重書展示会や、識者を招いての講演会等を開催します。また、イベント情報を多くの方に届けるための広報パンフレットの作成をはじめ、貴重書に関する解説資料やウェブサイトの充実など情報発信の充実に取り組みます。



4 人材育成

将来の研究・教育を着実に支えていくため、新たなスキルを持った図書館職員を育成します。紙の図書等に加えて、デジタル化された図書や研究データ等を適切に扱っていくことが求められています。また、高校までの勉強から大学での学びにスムーズに移行することを支援するため、高校生を対象に基礎的な学術情報リテラシー習得に関する支援も行います。

